

## ▶ クラウドへのスムーズな移行の リスクを低減する 5 つの方法

### クラウドはリスクの高いビジネスですか

ネイティブ処理やカスタム アプリケーションをクラウドに移行すると、リソースの共有が簡単になったり、コスト管理が向上したりするなどのメリットはありますが、処理やデータをクラウドに移すことに対して懐疑的な見解の企業が多いのも事実です。現実的かどうかは別にして、オンプレミスのストレージとバックアップは一種の安心感を与えてくれます。この点においてクラウドは、パブリック、プライベート、ハイブリッドのいずれにおいても、まだそこまでには至っていません。



そうは言っても、企業は処理とデータの管理方法に関して、この歴史的な改革を継続しながら、ワークロードをクラウドに日常的に移行しています。Commvault® などのデータ管理および情報ソフトウェア プロバイダーが対応する課題は、クラウドへの移行に関する主なリスクを予想し、企業のリスク軽減要素をすべて明らかにすることです。この概要では、クラウドへの移行においてリスクが心配される分野を取り上げ、それぞれに対して Commvault のソリューションを示します。

Commvault の目標は、企業データのクラウドへのスムーズな移行を実現することにあります。高リスクなビジネス要素が入り込む余地はありません。

## ▶ ハイブリッドで満足できますか

ハイブリッド クラウドは優れた柔軟性を持っているため、今日、企業が採用している有力なクラウド モデルとなっています。高いアジリティとスケーラビリティを要求するアプリケーションとワークロードは、オンデマンドでプライベートからパブリック クラウドに展開することができます。ハイブリッド クラウドは、ディザスタ リカバリにも適しています。これは、リカバリを実施しながら、処理をクラウド内で実行できる事業継続性を確保できるためです。ただし、ハイブリッド クラウドにはデータ管理における独自の課題があります。最初のステップとしては、Commvault ソフトウェアのようなプラットフォームを選択し、データ保護をアプリケーションに組み込み、あらゆるインフラストラクチャでそれを実施します。この包括的な 1 つの管理プラットフォーム アプローチを採用すると、組織はデータがどこにあるのかを把握しておく必要がなくなると同時に、インフラストラクチャにかかわらず、データは企業全体で一貫性のある処理が行われ、保護されているという確信を持つことができます。

## 従業員 の BYOD を企業に拡大

「従業員はクラウドを好んで使用している」。これは紛れもない事実です。個人的なレベルでは、クラウドは実にいたるところで使用されており、セキュリティ侵害事件は残念ですが、珍しいものではなくなっています。セキュリティ上の懸念をよそに、iPhone の利用者は減少する傾向にありません。従業員がクラウドを使い慣れてきたことにより、業務関連のデータを包括的なデータ保護とセキュリティ制御によって保護されていないプラットフォームに移して作業するという、安全でない状況が発生しています。「シャドウ IT」と呼ばれるこの業務利用は、データ漏洩や損失が許されない企業にとっては大きな問題です。Commvault Edge® は、許可されていないファイル共有やクラウド サービスに内在するリスクを回避します。Commvault Edge アプリケーションはモバイル デバイス上のコンテンツを保護しながら、従業員の個人データを含んだクラウドへのアクセス、編集、およびアップロード機能を提供します。

IDG Enterprise のレポートによると、顧客の 74% が「クラウド内の情報資産のセキュリティ」に関して非常に / やや自信を持っていますが、同じ研究報告では、クラウドでのデータやワークロードの保存をやめた顧客の 59% が、セキュリティ上の懸念からそのような行動を起こしたとされています。

IDG Enterprise<sup>1</sup>

## 柔軟性：リスクと自由のどちらをもたらしますか

「IT のコンシューマライゼーション」が実現したことで、企業がデータ漏洩から最も効果的な手段で保護する方法について、従業員であるエンドユーザーにこのような柔軟性が与えられました。クラウド内のデータには、ファイアウォールや暗号化を含むあらゆる標準的なリスク軽減手段より優れたセキュリティが求められます。賢明なポリシーベースのアプローチを採用することは、セキュアで包括的なデータ管理戦略にとって必要不可欠です。ワークロードに対してクラウド対応のソリューションを選択する場合は、暗号化以外にきめ細かなポリシー制御が包括的に提供されていることを確認します。これにより、リスクの大きいデータ漏洩を阻止するために必要となるセキュアなクラウド機能を有効にできます。Commvault ソフトウェアは、その包括的な単一プラットフォームの一部として、ポリシーベースの自動化を有効にしながら、役割ベースの統合アクセスによってセキュアな管理を確保します。標準搭載のアラート/レポート機能により、データ管理業務において運用状況を監視できます。

## リカバリとリスク軽減

Commvault のデータ保護とポリシー制御をあらゆる形式のクラウドを含むすべてのインフラストラクチャにわたって配置することで、企業はデータ漏洩に対するリスクを軽減してきました。しかし、予期しない出来事は起こるものです。さまざまなクラウド プラットフォームを業務に利用することが多い企業は、ディザスタ リカバリができる限り迅速でコスト効率の高い方法で実現出来るかどうかについて理解する必要があります。ビジネス上の課題は、ベンダーが提供するクラウド サービスの完成度は各社によって差が激しく、未完成的な場合も多いということです。そうすると、ディザスタ リカバリも複雑になり、コストもかかってきます。この問題を解消するために、Commvault は主要なクラウド プラットフォーム (AWS と Azure) および 21 を超えるその他のクラウド プラットフォームに緊密に統合されます。Commvault は、ディザスタリカバリやテスト / 開発などの主要な利用目的のためにクラウドインフラストラクチャの管理を一元化する目的で設計された、クラウドオーケストレーションとプロビジョニング機能を提供する、データ管理分野における最初のベンダーでした。Commvault を使用すると、ディザスタ リカバリを実行する際に、IT リソースに対する複雑性、コスト、および負担は確実に小さくなります。

## 複雑さの低減

Amazon、Google、Microsoft などの主要なクラウド プロバイダーは、クラウドの信頼性を確保するために余念がありません。しかし、企業はさらにもう一步踏み込み、信頼できるクラウド データ保護を提供するベンダーを選択してリスクをさらに削減する必要があります。業務の中断を防ぐのに必要な一定の信頼性と移植性を備えていないクラウド ストレージ ベンダーとの連携を求める企業は後を絶ちません。また、企業が複数のクラウド プラットフォームを使用し、各プラットフォームで独自の管理プロセスや技術が設定されている場合は、IT にかかるコストとリスクは高くなります。Commvault では、エンドユーザーが独自のクラウド リソースを管理できるように、1 つのフロントエンド管理アプローチを採用して、この複雑性を低減します。それ以外にも、Commvault のクラウド非依存型のアプローチによって、企業に求められる柔軟性を与えています。

クラウド戦略で成功を収めるための  
5つの方法<sup>1</sup>

次の短い動画では、ハイブリッドクラウドを最大限に利用し、組織に確実に反映されるための5つの方法を示しています。

今すぐ見る



## 1 つで簡単に管理

従業員のデバイス モビリティ、複数のクラウドの多様性、オンサイト / オフサイトのバックアップなど、多数の変動要素が存在する中、企業にはコスト管理、多種多様な不確定要素に関連して激化するリスクの低減、さらに重要なものとして、エンド ユーザーへの使いやすさの提供を可能にするデータ保護およびデータ管理ソリューションが必要です。Commvault は数千に及ぶ顧客と数百ペタバイトのデータをクラウドで管理しており、顧客のスマートなクラウド戦略の提供を支援した豊富な経験があります。業界で最も高度で幅広いクラウド プラットフォーム統合を利用することで、アプリケーションとデータをクラウドにすばやくスマートに移すことができます。シームレスなディザスタ リカバリ戦略を実装できます。さらに、非常に高度なクラウド オーケストレーション、プロビジョニング、管理機能によって、クラウド投資価値を増大させることができます。Commvault は、クラウドについて合理的に考え、IT リソースの負担を低減する支援を行います。高リスクなビジネスをお求めの方は、バーチャル リアリティ ゲームに参加すればよいのです。

## ▶ リソース

[i commvault.com/resource-library/55007f5149c0b275f4000079/5-ways-to-ensure-your-cloud-strategy-is-successful.mp4](http://commvault.com/resource-library/55007f5149c0b275f4000079/5-ways-to-ensure-your-cloud-strategy-is-successful.mp4)

▶ Commvault ソフトウェアでの統合クラウド データ保護の詳細については、[commvault.com/cloud](http://commvault.com/cloud) をご覧ください。

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「六角形の C」のロゴ、Commvault Systems、Commvault OnePass、CommServe、CommCell、IntelliSnap、Commvault Edge、および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービス マークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVAULT 



▶ COMMVAULT SYSTEMS JAPAN 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎 2-1-1 THINKPARK TOWER 8F

WWW.COMMVAULT.COM | PHONE: 03-5747-9610 | JPSALES@COMMVAULT.COM  
© 2017 COMMVAULT SYSTEMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.